

令和元年6月12日現在

機関番号：72622

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2015～2018

課題番号：15K02923

研究課題名（和文）宋～明代日用類書の基礎的研究

研究課題名（英文）the Fundamental study of daily encyclopedia in Song to Ming dynasty

研究代表者

大澤 正昭（Osawa, Masaaki）

公益財団法人東洋文庫・研究部・研究員

研究者番号：30113187

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の課題は、宋代から明代の間に出版された史料、日用類書（いわゆる日用百科全書）の研究である。本研究ではその代表的な史料として知られる『三台万用正宗』の解説を主な目的とし、そのための補助的な工具書となる研究文献目録と原本の国内所蔵機関目録とを作成した。解説作業では『三台万用正宗』から六つの分野を選び、訓読・和訳・語彙解を作成した。とくに巻八律例門の解説に重点を置き、全訳を完成させた。この内容から、たとえば訴訟に至るまで大きくなっていった社会矛盾の所在が理解できた。さらに解説の過程で、日用類書の基礎的な研究方法も提起できた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日用類書は庶民階層を対象に、日常生活に必要な基礎的知識をまとめたものである。これを活用すれば基層社会のさまざまな側面を解明することができる。しかし内容はきわめて難解であり、読解の方法を確立することが求められていた。本研究では代表的な日用類書の内容を解説し、多くの新たな知見を得ることができた。この過程で、解説に有効な辞書類や近世の研究成果を再確認し、活用することができた。今後の研究に必要不可欠な知識を得ることができ、基礎となる成果をあげられたと考えている。

研究成果の概要（英文）：Our assignment is studying for Ri-yong Lei-shu in Song to Ming dynasty. The purpose of this research is to decipher one of the representative materials and make list of researching papers and original texts in domestic institutes. We have made up these fruits.

In deciphering we selected 6 fields in materials then made reading and translation into Japanese with explanations of vocabulary. Especially we placed emphasis on deciphering Vol.8. From the contents we understood where was contradiction at that time. And we brought up the basic way of studying for Ri-yong Lei-shu.

研究分野：中国前近代社会史

キーワード：日用類書 明代 基層社会 法制史 告訴状 商業史 日用算法

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

中国の宋代から明代においては、木版印刷の発明と技術的發展によって、大量の日用類書(いわゆる日用百科全書)が出版された。それはこうした書籍が当時の基層社会に受け入れられていたことを意味する。当時の識字階層はさまざまな知識を手軽に参照できる百科全書を求めていたのである。とすれば、これらの史料を活用することで、当時の基層社会が直面していた諸問題を解明することができるはずである。しかしそうした研究はなかなか進まなかった。その理由は、第1に日用類書のテキストそのものが中国でほとんど散逸しており、入手しにくかったこと、第2にその記述内容が難解であったことである。第1の問題は、日本と中国でテキスト復刻版の出版が進められたことにより、大幅に改善された。しかし第2の問題は依然として残されたままであった。したがって日用類書を活用した歴史研究は限定的であり、今後の史料研究が待たれるところであった。

2. 研究の目的

本研究は前述の問題を解決すべく、具体的な課題を設定した。第1にテキスト原本の所在を確認することである。調査の便宜上さしあたっては国内の機関の所蔵書を確認することを目指した。第2にこれまでの研究成果を利用するために研究文献目録を編纂することである。国内のみならず、中国・台湾にも目を配り、できれば英語圏の研究も収集したいと考えた。第3に、以上の基礎作業をもとにテキストの解読を行うことである。この第3の作業は対象が広すぎるため、テキストを絞り、もっとも定評のある『三台万用正宗』を取り上げることとした。この史料が解読できるならば、その方法を他の日用類書研究にも応用して、解読が進められるはずである。

3. 研究の方法

テキストの所在確認と文献目録の作成はネット環境を活用する必要があるため、若手の研究者を雇用して進めることとした。研究代表者は作業の進行について随時報告を受け、問題点を解決しつつ作業を進めていった。

テキストの解読については研究代表者と分担者の主要なメンバーがほぼ毎月研究会を開催して進めた。そこで訳注の案を提示し、討論して補筆、改定していった。研究対象とする分門は各自が興味を持ったものを選び、解読作業を進めることとした。具体的に取り上げた分門は、巻8 律例門、巻21 商旅門、巻22 算法門であり、このほか巻26 医学門、巻38 農桑門、巻39 僧道門なども適宜取り上げ検討することとした。

4. 研究成果

テキストの所在については『明刊本日用類書国内所蔵機関目録稿』を、研究文献目録については『明代日用類書研究論文・著作目録稿』を完成させた。これらは東洋文庫のホームページ上で公開している。

テキストの解読については、巻8は完成してすでに公開しており、巻21と巻22はほぼ完成している。この解読の過程で日用類書研究の初歩的方法が明らかになってきた。第1にテキスト比較である。異なる日用類書に同様の内容が収録されている場合が多く、これらを相互比較すれば文字や文章の異同を確認でき、あるべきテキストを確定できる例が多かった。これは必須の作業となる。第2に先行する研究成果として日本近世の研究成果が大いに有効であることが再確認できた。荻生徂徠と高瀬喜朴の注釈などであるが、とくに荻生徂徠の語彙解釈は非常に優れていた。第3に工具書類である。これは各種あげられるが、近年のものでは『近代漢語大詞典』がとりわけ有用であった。以上の研究成果と工具書類を活用すれば、テキストの読解を進めることができる。ただ、難解極まりない文章や誤字・脱字が予想される文章など、残された問題も多く、今後さらなる研究が必要である。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 13 件)

斯波義信『新刻天下四民便覧三台万用正宗』巻二一商旅門訳注稿

(査読なし、(公財)東洋文庫レポジトリ、2019年度公開予定)

渡辺紘良『新刻天下四民便覧三台万用正宗』巻二二算法門訳注稿

(査読なし、(公財)東洋文庫レポジトリ、2019年5月、1-99頁)

大澤正昭『新刻天下四民便覧三台万用正宗』巻八(下層)律例門訳注稿(改訂版 ver.1)

(査読なし、(公財)東洋文庫レポジトリ、2019年3月、1-89頁)

大澤正昭「明代日用類書の法制史関係史料」(査読なし、山本英史編『中国近世法制史料読解ハンドブック』(公財)東洋文庫、2019年3月、157-195頁)

大澤正昭『新刻天下四民便覧三台万用正宗』巻八律例門(上層)「招擬指南」訳注稿(試行版)

- Ver.1) (査読なし、(公財)東洋文庫レポジトリ、2019年3月、1-42頁)
大澤正昭監修・杉浦廣子編『明代日用類書研究論文・著作目録稿』
(査読なし、(公財)東洋文庫レポジトリ、2019年1月、1-21頁)
大澤正昭「地域のボスを告訴するには」(講演要旨)
(査読なし、『東洋学報』100巻2号、2018年9月、72-74頁)
斯波義信「資金調達に見るチャイニーズネス」(講演要旨)
(査読なし、『東洋学報』100巻2号、2018年9月、66-70頁)
渡辺紘良「共に学ぶ宋・元・明の日用数学」(講演要旨)
(査読なし、『東洋学報』100巻2号、2018年9月、70-71頁)
大澤正昭『新刻天下四民便覧三台万用正宗』巻八(下層)未収録条文訳注(改訂版 ver.1)
(公財)東洋文庫研究部レポジトリ、2018年3月、1-107頁)
大澤正昭監修・杉浦廣子編『明刊本日用類書国内所蔵機関目録稿』
(査読なし、(公財)東洋文庫研究部レポジトリ、2018年3月、1-28頁)
大澤正昭「商人たちの告訴状 明代日用類書の事例から」
(査読なし、『上智史学』62号、2017年11月、39-55頁)
大澤正昭「明代日用類書の告訴状指南 「土豪」を告訴する」
(査読なし、『唐宋変革研究通讯』7輯、2016年3月、45-61頁)

〔学会発表〕(計 3 件)

- 大澤正昭「地域のボスを告訴するには 告訴状作成ガイドを読む」
(2018年7月6日、(公財)東洋文庫・東洋学講座)
渡辺紘良「共に学ぶ宋・元・明の日用数学」 (2018年7月4日、同上)
斯波義信「資金調達に見るチャイニーズネス」 (2018年6月22日、同上)

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

東洋文庫レポジトリ『宋～明代日用類書の研究』

www.toyo-bunko.or.jp/research/nichiyoruisyoyakuchu/sominnichiyoruisyoyakuchu.html

6 . 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：斯波 義信

ローマ字氏名：Shiba, Yoshinobu

所属研究機関名：(公財)東洋文庫

部局名：研究部

職名：研究員・文庫長

研究者番号(8桁)：00039950

研究分担者氏名：渡辺 紘良

ローマ字氏名：Watanabe, Hiroyoshi

所属研究機関名：(公財)東洋文庫

部局名：研究部

職名：研究員

研究者番号(8桁)：90049180

研究分担者氏名：徳永 洋介

ローマ字氏名：Tokunaga, Yosuke

所属研究機関名：富山大学

部局名：人文学部

職名：教授

研究者番号(8桁)：10293276

(2)研究協力者

研究協力者氏名：井黒 忍

ローマ字氏名：Igro, Shinobu

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。